



千葉県生涯学習センター共催

公開講座

平成30年

2月8日(木)

13:30 ~ 15:00

コンピュータの進歩と プログラミングの歴史

講師 杉本 正勝 (元) 東京情報大学 特任教授

コンピュータが動き出してから既に70年。コンピュータで扱う対象は、「数値」から「知識」、「知能」へと進んでいる。この大きな変化をもたらした原動力は何だろうか？ハードウェアの進歩とプログラミング技術の進歩とを対比しながら考察します。

平成30年

2月14日(水)

13:30 ~ 15:00

台湾のドキュメンタリー制作の 現場から ~台湾少年工から湾生まで~

講師 藤田 修平 東京情報大学 総合情報学部 准教授

映像を積み重ねていくことには、旅をするような楽しさがあります。『緑の海平線~台湾少年工の物語』(企画/制作2007)から『湾生画家・立石鉄臣』(共同監督2016)に至るまで、2000年代初頭から台湾を拠点として、日本と台湾の歴史をめぐる映画製作をおこなってきた制作現場での体験談から社会との関わり、そこで発見したこと、考えたこと、感じたことについてお話します。

平成30年

2月19日(月)

13:30 ~ 15:00

微分方程式で読み解く歴史 ~バス・シェーナ橋やタコマ橋の崩落は何故起きたのか~

講師 矢作 由美 東京情報大学 総合情報学部 助教

1850年にフランスのバス・シェーナ橋が、1940年にアメリカのタコマ橋が崩落するという痛ましい事故が起きました。その原因と言われているのが、「共振現象」です。本講座では数学的な立場から共振現象を微分方程式で記述し、その解を求めることで読み解きます。

会場 千葉県生涯学習センター 3階大研修室

(千葉県中央区弁天3丁目7-7 ※JR千葉駅北口より徒歩8分)

※会場は東京情報大学ではありませんのでご注意ください。

定員 60名(無料)

お問い合わせ・お申込み メールまたは電話で、①講座開催日 ②受講希望者名 ③電話番号をご連絡ください。

東京情報大学 総合情報研究所 ☎043-236-4710 ✉kouza@affrs.tuis.ac.jp

※定員になり次第、締め切りとなりますので、満員の際はご容赦ください。

※お預かりした個人情報は、「個人情報保護に関する法律」並びに「学校法人東京農業大学個人情報保護に関する規程」に基づいて適切に取り扱い、本講座の連絡以外の用途には使用しません。

